

# かわほん 川の本

No. 22 '87 河川美化月間



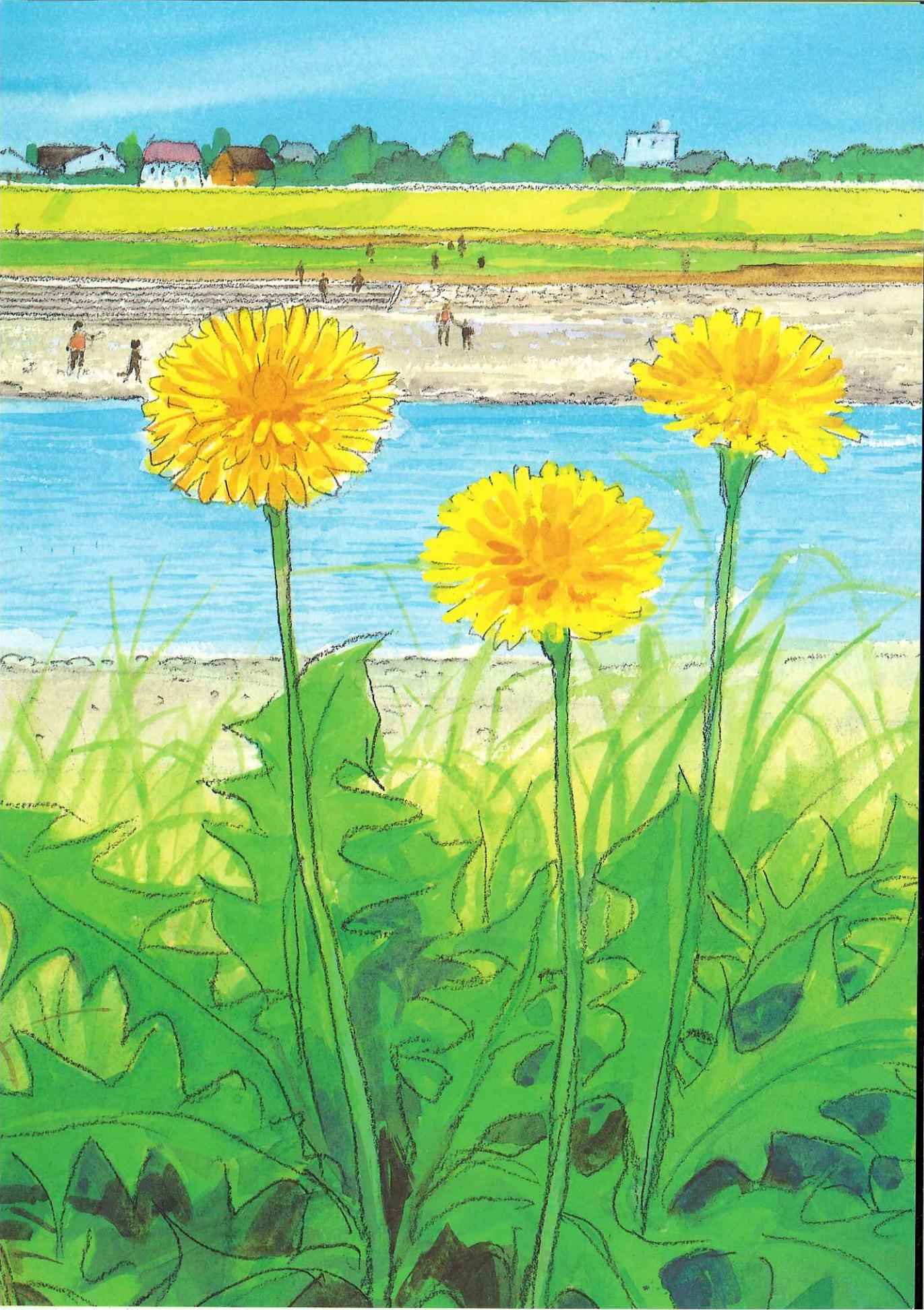
監修 建設省河川局  
財団法人河川環境管理財団

# 広い川原に 春が来た……。

きらきらと川面におどる陽光が  
日ごとにあたたかさを加え  
やさしいそよ風にさそわれるよう  
堤防の若草がいっせいに芽をふいて  
広い川原いっぱいに  
春の気配が満ちあふれています。

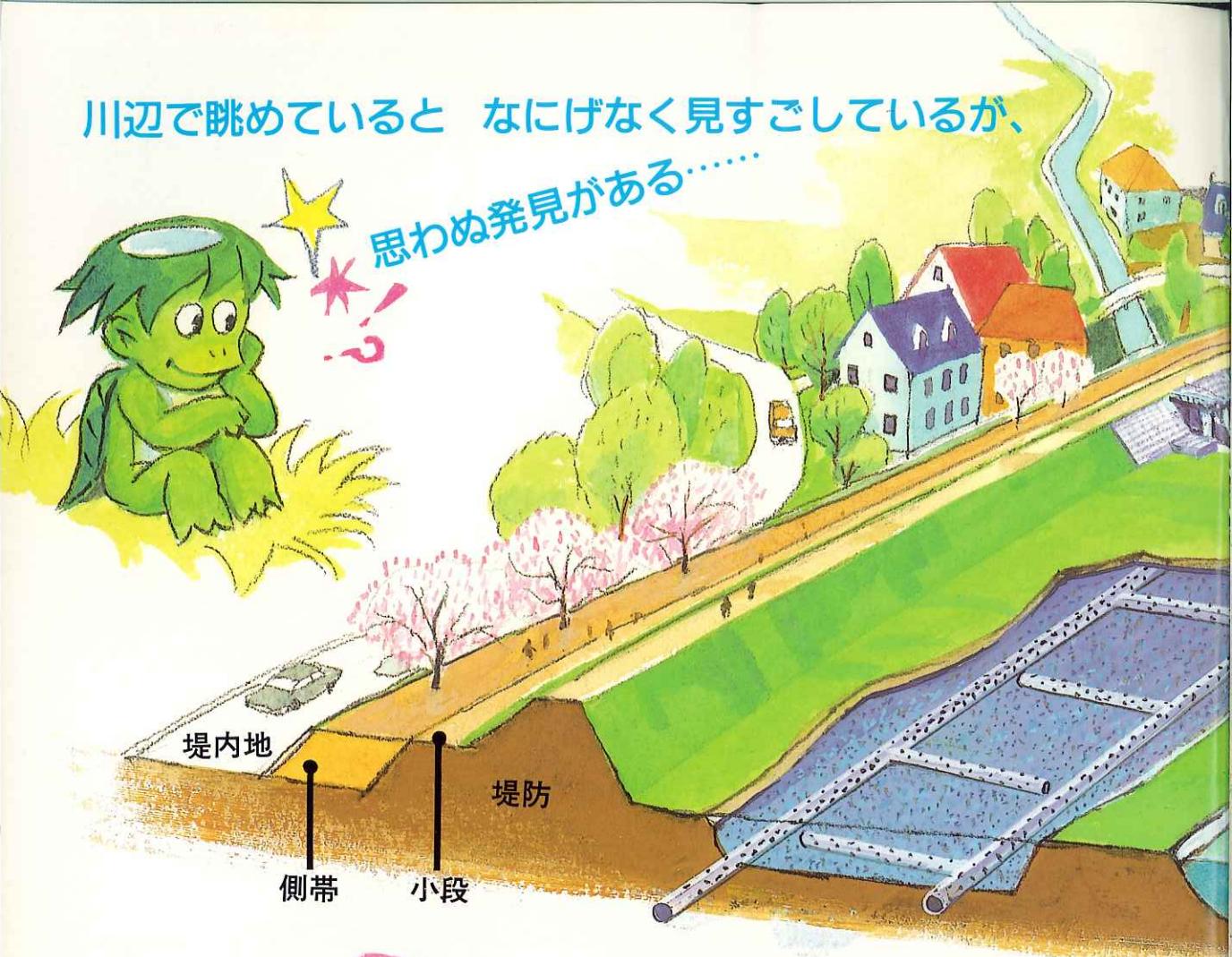
さあ、あなたも  
ひばりのさえずりを伴奏に  
自然とふれあい  
心地よい汗を流す  
春の川辺のひとときを  
お楽しみになりませんか。





川辺で眺めていると なにげなく見すごしているが、

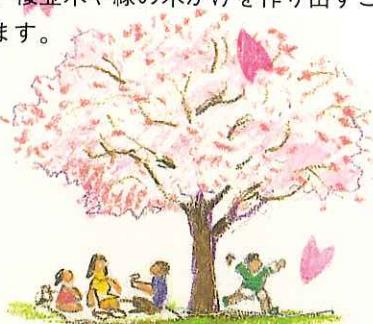
思わぬ発見がある……



おやおや、堤防にはどうして木が植えてないのだろうか？

——それは、大風や大水などで木がゆさぶられ、せっかく築いた堤防をいためるおそれがあるからなのです。

堤防ぞいに樹木を植える場合のくふうのひとつが、側帯です。こうして、堤防への影響なしに、桜並木や緑の木かげを作り出すことができます。

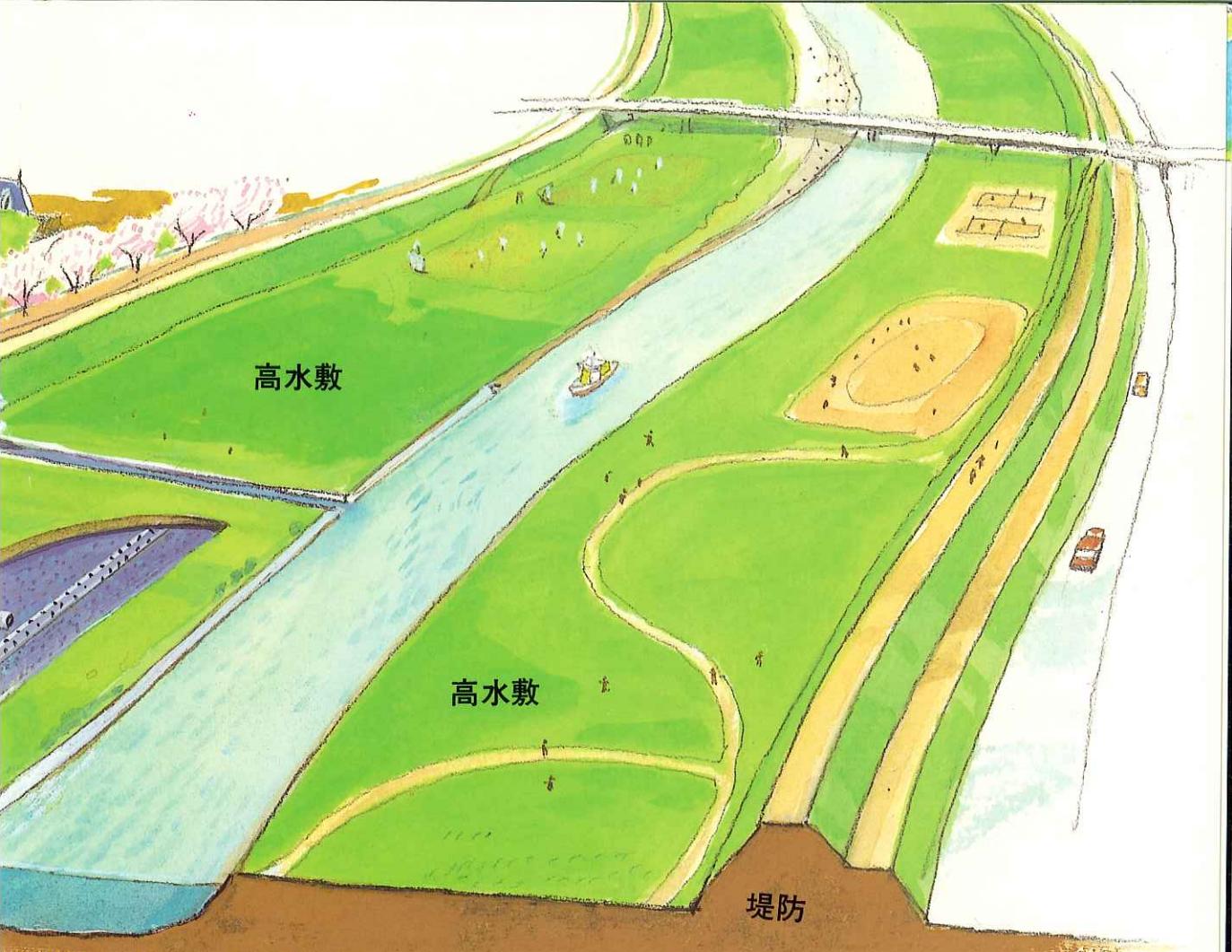


高水敷の野草地の下に、こんな施設がかくされている川があるのをご存知ですか？

川の水がよごれるのを防ぐために、支流から流れこむきたない水をいったん浄化施設に導き入れて、きれいにして本川へ流し出そうというものです。

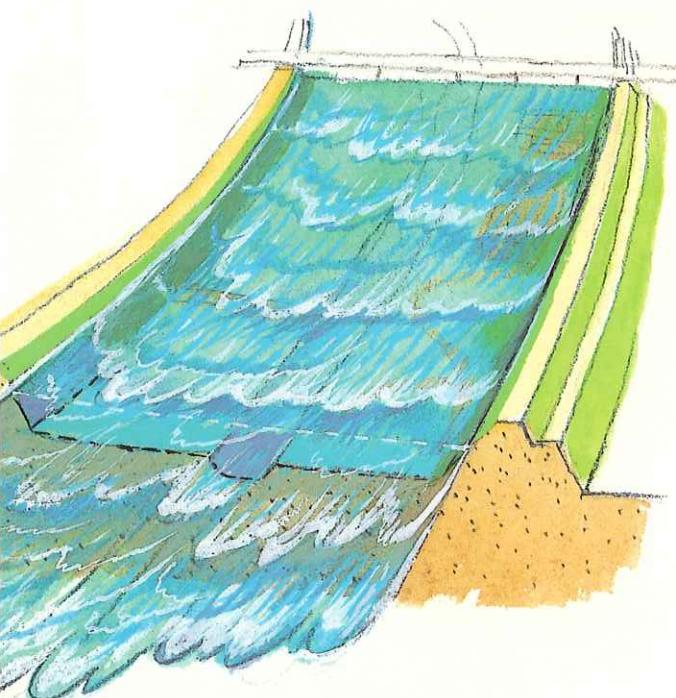
水をきれいにする方法としては、よごれた水を小石がいっぱいいつまつた巨大な水槽の中を通すことによって、きたない物質が石にくつついたり、バクテリアのはたらきによって分解されたりするのを利用した浄化法（礫間接触酸化法＝れきかんせっしょくさんかほう）がとられています。

首都圏の西部を流れる多摩川の支流の野川では、すでに施設ができあがっており、また対岸の平瀬川でも工事がおこなわれています。



## 低水路

いつも水が流れているところを、低水路といいます。



大きな川では、水の流れていないところが、なぜこんなに広いのだろう？

こうすいしき  
高水敷は、大雨で川の水が増えた時に、その水を安全に流すための大切な川の敷地です。ですから、ここには洪水の時に流れのさまたげになるような施設を作ることができないのは、当然ですね。

しかし、ふだんは皆さんのいこいの場、レクリエーションの場などとして、広く利用されています。また、災害時の避難場所ともなります。

# ひとびとが望んでいる川の姿

近くを流れている川がこんな川であってほしいという  
ひとびとの願いを建設省の資料などからまとめてみました。

1 水がきれいで、  
魚がいっぱい  
住んでいる川。

2 自然とふれあい、  
心にうるおいを  
もたらしてくれる川。

こんな川だと  
うれしいな

# 3

安心して水遊びや  
魚釣りができる、  
親しみのもてる川。



# 4

いつも豊かに水が  
流れている川。



# 5

公園・緑地や、  
スポーツ施設などが  
整備されている川。

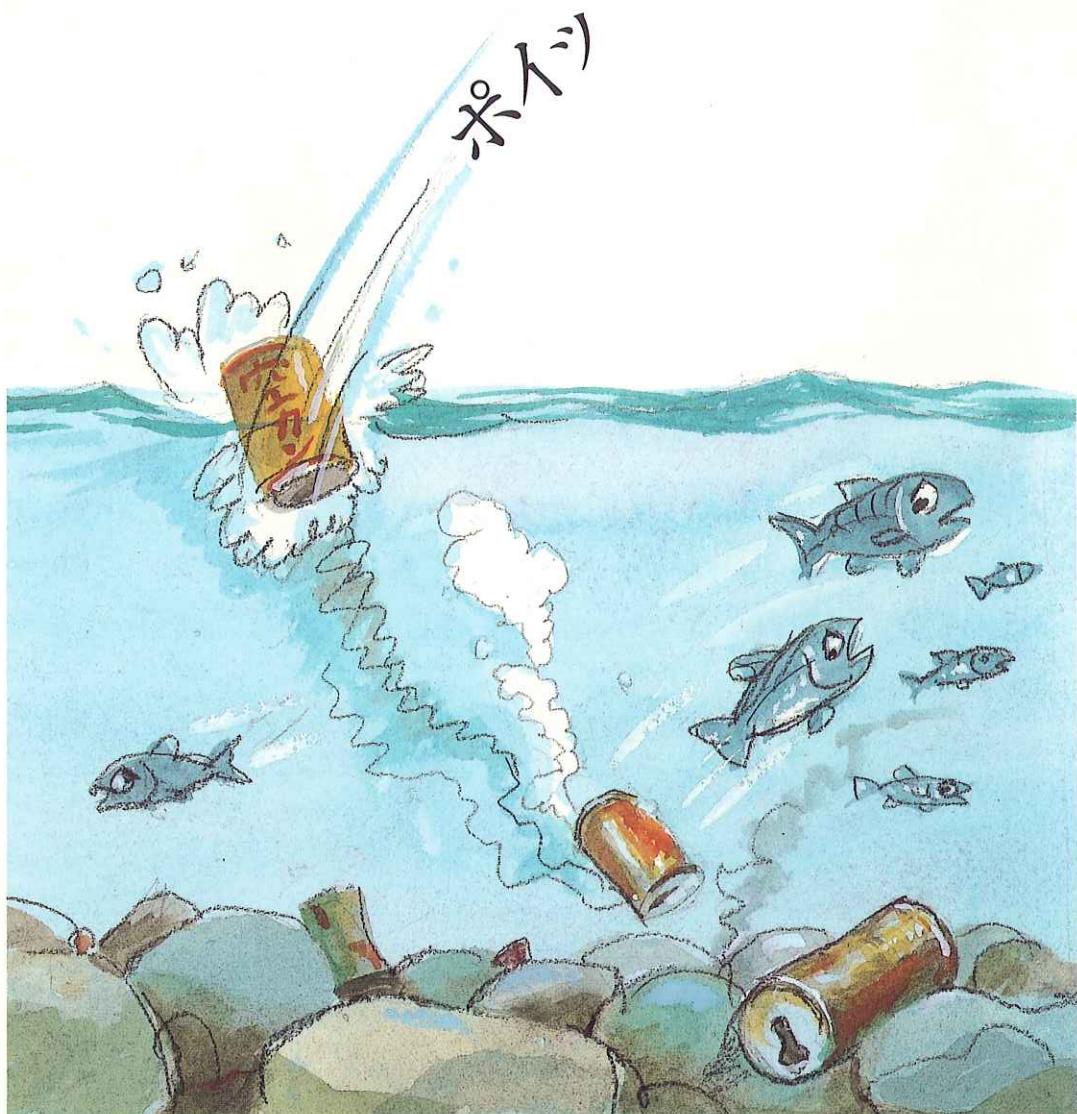


このほかにも、川らしい魅力が生かされてい  
ること、まわりの景色と調和のとれていること、  
ゴミなどがすてられていないこと、川の  
水の有効利用がなされていること、など……  
川に寄せるひととの期待は、さまざまです。  
——さて、あなたの近くを流れている川は、  
どんな姿をしているでしょう。

## 河川環境管理財団のしごと

私たちは、次のようなしごとを通して、  
みなさんに愛される川づくりのお手伝い  
をしています。

- ①よりよい河川環境を生み出すための計  
画づくり
- ②みんなで安全に遊べる楽しい川づくり
- ③川の美化をすすめ、また河川愛護の知  
識をひろめる
- ④河川環境の将来を考えるための調査や  
研究



すべてられた  
空カンやゴミなどは  
川の自然を  
台なしにして  
しまいます

みんなで川をよごさないよう気をつけましょう  
**毎年4月は河川美化月間です**  
——北海道は5月——



財團  
法人 河川環境管理財團

(〒160)東京都新宿区新宿5丁目17番5号  
TEL (03) 200-5677(代表)